

2018年4月度 高島屋店頭売上速報

■ 国内百貨店売上高 (前年比 単位:%)

大 阪 店	+9.8	立 川 店	△29.1
堺 店	+4.8	大 宮 店	△2.4
京 都 店	+7.3	柏 店	+2.4
泉 北 店	+5.4	(株)高島屋単体 13店舗	+2.9
日 本 橋 店	△2.5	岡 山 高 島 屋	△4.1
横 浜 店	+0.0	岐 阜 高 島 屋	△2.3
港 南 台 店	△2.4	米 子 高 島 屋	△13.7
新 宿 店	+4.4	高 崎 高 島 屋	+8.6
玉 川 店	+0.5	(株)高島屋単体 および 国内百貨店子会社 17店舗	+2.6

※京都店の売上高は「洛西店」を含みます。

※横浜店の売上高は「タカシマヤ フードメゾン 新横浜店」「タカシマヤ スタイルメゾン海老名店」、柏店の売上高は「タカシマヤ フードメゾン おおたかの森店」、岡山店の売上高は「タカシマヤ フードメゾン 岡山店」を含みます。

■ 概況

- 4月度の店頭売上は、高額品・免税売上が引き続き伸長したことなどにより、2カ月連続で前年実績を上回りました。
なお、免税売上は前年比+23.7%となりました。
- 店舗別では、大型店が大阪店・京都店・横浜店・新宿店が前年を上回りましたが、日本橋店は改装影響などにより前年に届きませんでした。郊外地方店では、堺店・泉北店・玉川店・柏店・高崎店が前年を上回りました。
なお、立川店・米子店は前年同月比で売場面積が縮小しております。
- 商品別売上は、高額品の特選衣料雑貨（当社分類による17店舗ベース、以下同じ）・宝飾品が、堅調な国内需要と好調な免税売上により大きく伸張したほか、シーズンアイテムが好調だった婦人雑貨や呉服・リビングなどが前年比プラスとなりました。また、食料品は前年並みで推移しました。
一方で紳士服・婦人服は、平年より高温の日が多かったことにより夏物アイテムに動きはあったものの、前年には届きませんでした。

以 上